



# あさひっ子

学校だより 第 4号  
令和8年 6月30日  
鳥栖市立旭小学校  
文責 校長 長野 篤志



## アウトリーチコンサート

6月1日(月)、3~6年生を対象にアウトリーチコンサートが行われました。今年度は、福岡県を中心に活動されている和太鼓ユニット「夢源」さんにご出演いただきました。

和太鼓の演奏だけでなく、琴や三味線、尺八等の和楽器も加わり、力強くも優しく温かい音色が体育館いっぱいに響き渡りました。また、児童代表も演奏に加わり、全員振り付けをしながら会場一体となって盛り上がっていました。

世の中には音楽が溢れ、洋楽やデジタルを使った音楽等、身近に聴くことができるようになりました。ただし、今回のような、直接体験を体で感じることは、感性や情緒を豊かにするよい経験となりました。

「夢源」の皆さん。ありがとうございました。



## お手伝いありがとうございました

6月2日(火)、サポーターズの有志の皆さんで、改築後の図書館の本の整理を行っていただきました。

北校舎の改修工事が終わり、図書室には運送業者に運んでいただいた段ボールが山積みになっていました。この日は、11名の方に来ていただき、段ボールから本を取り出し、本棚に並べていただきました。

皆さんに手伝っていただき、早く本の整理ができたことで、図書館の運用再開を早めることができました。おかげさまで、新しくなった図書館に嬉しそうに足を運ぶ子が増えています。ありがとうございました。



## 鳥栖市教育の日

6月14日(日)、鳥栖市内の小中学校12校で、日曜参観が行われました。この取組は、毎年6月に市内の小中学校で日曜参観や地域公開授業を行い、学校・家庭・地域・行政が連携して子どもの教育を考える日として位置づけられています。今年度で13回目となります。

本校では、2~3時間目に国語、算数、理科、社会、図工、家庭科、道徳、外国語、自立活動、教科「日本語」等の授業を公開しました。

今回、2年生は学年全体で教科「日本語」の「日本のあそびを知ろう」をしました。体育館に全員集まり、地域の方のご協

力のおかげで、保護者も子どもも、けん玉、お手玉、おはじき、メンコ、竹とんぼ等で楽しく遊ぶことができました。



また、しっかりと子どもたちが学ぶ授業や「ふれあい道徳」等、保護者の皆様も参加できる授業もありました。梅雨の時期でしたが、天気も良く、たくさんの保護者の皆様や地域の皆様に足を運んでいただいたこと感謝いたします。

## 防災講話

6月19日(金)、5校時に大雨や災害等による「引き渡し訓練」の話を、各教室で行いました。その後、6校時に3~6年生を対象に「防災講話」を体育館で行いました。

講話は、旭まちづくり推進センター長の清水 幸雄 様をお願いをしていました。まずは、自治体や気象庁等から発表される防災情報について話をされ、5段階の警戒レベルや「警戒レベル4避難指示」「警戒レベル3高齢者等避難」の説明をいただきました。

校区内の避難所が「旭まちづくり推進センター」と「旭小学校」の2カ所であることに驚く子もいました。また、「もし避難してくるときには、余裕があれば食べ物を持ってきてほしい」ということ等、具体的な避難所の姿を興味深く聞いている子もいました。

先日の全校朝会で、今月、佐賀県内で川遊びの事故で命を落とした生徒がいる話をしていました。命は一つしかありません。事故も災害等も、正しい知識と行動力を持っていれば、被害を最小限に抑えることができます。ご家庭でも、事故や防災の話をされてください。



## あさひっ子集会

6月24日(水)に、「あさひっ子集会」を行いました。「戦争」や「平和」について、スライドを使って説明がされた後、私たちができることを考えていこうという提案がありました。読み聞かせや歌などで、平和への気持ちを高めた後、旭小で考えた「平和宣言」をみんなで声を出して唱えました。

私からは、戦争がない世の中にするために、そして、みんなで唱えた平和宣言が達成できるように、人に優しくすること」を伝えました。人に優しくすれば、自分にも優しくなれます。そういう世の中になれば、争いや戦争は起こらないと考えます。夏休み前に、このような集会ができてよかったです。

